



俵山トンネルルートが全線開通

俵山トンネルルート（県道熊本高森線）全線開通式

平成28年熊本地震によって被災していた俵山トンネルルートが、9月14日、地震発生から3年5カ月ぶりに全線開通しました。

県が管理者となっている同ルートは、大規模災害からの復興に関する法律に基づいて国が工事を代行。平成28年12月には俵山トンネルの通行が再開し、その後は西原村の村道をう回路としながら被災した複数の橋の工事が進められてきました。

大切畑大橋付近で開かれた開通式には、国、県、地元関係者など約200人が出席。地元の子どもたちやくまモンも加わったのテープカットの後、関係者などを乗せた車が通り初めのパレードを行い、同日に一般開放されました。

- ① 関係者によるテープカット
- ② お礼の横断幕を持つ西原村中学生
- ③ 通り初めパレード

2020年度に向けて

道路・砂防・鉄道が連携し工事を進めている阿蘇大橋地区の斜面崩壊部について、山腹工事やのり面対策工事が順調に進み、国道57号現道部分については、JR豊肥本線復旧工事ヤードとして活用が開始されました。

国道57号線現道部分については、2020年度内に完了する見通しとなっています。今年2月に二重峠トンネル



復旧工事が進む阿蘇大橋地区（熊本復興事務所提供）

2020年度完了予定の復旧関係工事

- ・国道57号線現道部分／北側部分
- ・JR豊肥本線の復旧工事完了・運転再開
- ・新阿蘇大橋（仮称）

が貫通した国道57号北側復旧ルートについては、7月末にはトンネル内壁の工事がすべて完了し、2020年度に開通が予定されています。JR豊肥本線の運転再開や、崩落した阿蘇大橋に代わる新たな橋の完成も2020年度となる予定。重要な交通の利便性が高まり、復旧・復興の大きな節目の年となりそうです。